

## 生徒に浸透する国際人道法 ～広島県広島市立吉島中学校での取り組み～

全校で EHL の授業を実施している広島県広島市立吉島中学校での取り組みをご紹介します。

吉島中学校は同校の生徒会長の要請から青少年赤十字に加盟、10 余年を迎えます。早朝から校門ではボランティアの生徒による挨拶や校内の清掃活動などが行われています。



吉島中学校校舎



朝の校門での挨拶

校内の掲示板は大変充実しています。



## EHL の内容

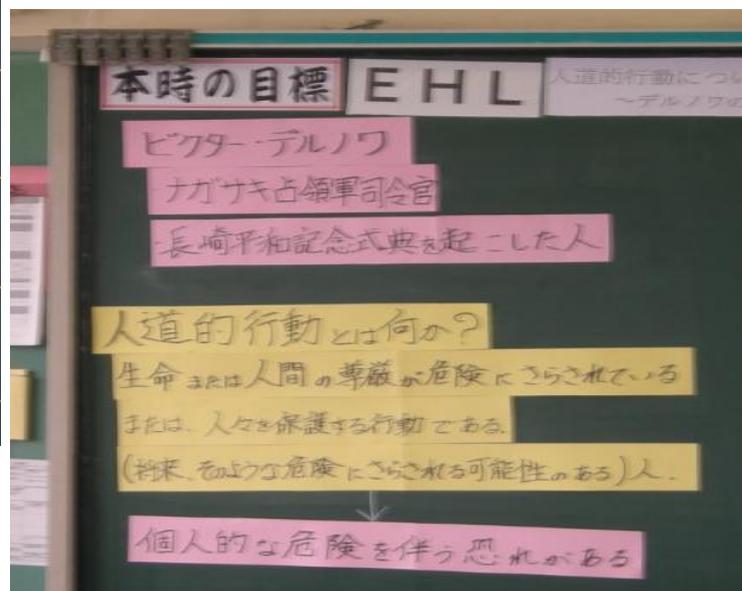
EHL の授業は道徳（総合的な学習）の時間の1コマとして実施されています。11月には、人道法の探究のモジュール1「人道的な行動を考える」をベースに、同校の田村真一教諭が編集した「二度と原爆を使ってはいけない ナガサキを見た占領軍司令官 ビクター・デルノア<sup>1</sup>」のエピソードを素材として1学年、2学年全クラスで授業が展開されました。

実際のクラスの授業手法はそれぞれの担任教諭のアレンジも加えられていますが、授業の内容は次のとおりです。

ねらい
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人道的な行動の概念を理解するとともに、第三者の行動の及ぼす影響を知る。</li> <li>・ 命と尊厳が冒されたとき、なすべきことに対して社会的圧力が及ぼす影響について考える。</li> <li>・ 日常的な日々のニュースで、人道的な行動を認識できるようになる。</li> </ul>
教材
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EHL モジュール 1B</li> <li>・ NHK 総合 TV 番組「二度と原爆は使ってはならない～ナガサキを見た占領軍司令官ビクター・デルノワ～」(2011年8月8日放送 NHK制作)</li> </ul>

11月 2日 水曜			
教科	持参物・宿題		
1	道	EHL	1
2	英	A5-1授業ノート 毎日ノート 予習	2
3	社	4人セット	3
4	国	Aノートの発音B漢字P44 漢字P44	4

今日の授業



学びのポイント

<sup>1</sup> 原爆投下直後に長崎に占領軍司令官として赴任したデルノワはその惨状を目にし、司令官としての立場に苦悩しながらも被爆地長崎での第1回長崎平和記念式典の挙行を長崎市に許可したり、被爆者の手記の出版を上層部に申請したりして、原爆の被害の大きさ、恐ろしさをアメリカ、世界に伝えることに尽力した。

## 内容

- ・「人道的行動」について生徒に自由に発言させる
- ・デルノワの事例を紹介し、以下のポイントをグループで話し合ってワークシートに書き出す。
  - －デルノワのとした人道的行動とは何か。
  - －その際デルノワにかかる社会的圧力（デルノワにとってマイナスになること）は、どのようなことが考えられるか。
  - －なぜデルノワは人道的行動をとったのか。
  - －デルノワの行動についての感想「文章を読んで、どう感じたか」
  - －彼のとした行動は、どのような結果（または影響）をもたらしたのか。（2学年のみ）彼自身にとって、家族にとって、長崎市民にとって、アメリカ軍にとって、世界にとって、の視点で考える。

## EHL で学んだこと

EHL で提示される問いには必ずしもはっきりとした答えがあるわけではありません。生徒と教師は答えをともに探究することがEHLの最大の特徴で、生徒には常に主体的に授業に参加していく姿勢が求められます。

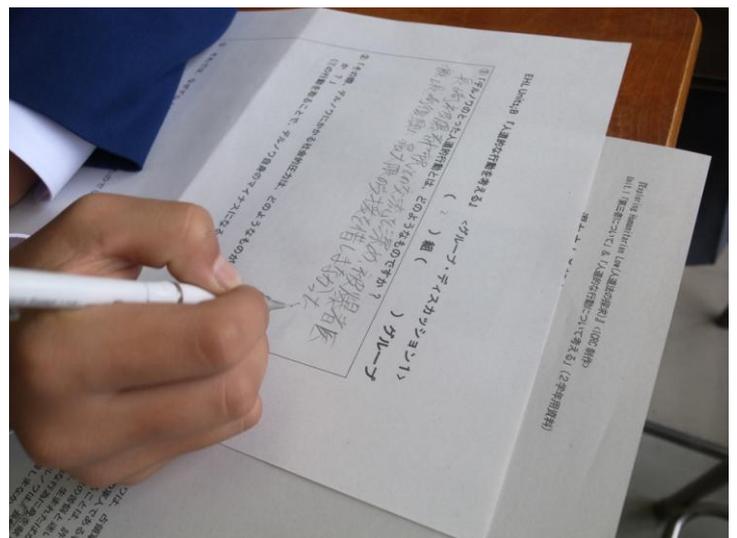
EHL でどんなことを学んだか、ということについて、生徒会長の草薙さんは次のように語ってくれました。

**先生と私たち生徒とは今まで別々の立場にいるものだと思っていました。でも、EHLを学んで先生も私たちと同じ目線になって考えてくれていることが感じられました。**

吉島中ではEHL、人道法、人間の尊厳という言葉が生徒たちの間で当たり前のように浸透しています。人道法そのものの学習以上に、生徒はたくさんの学びの種がはぐくまれています。



授業の様子



ワークシートに話し合った内容を記入